

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成26年6月19日 (2014.6.19)

【公開番号】特開2012-238917(P2012-238917A)

【公開日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-051

【出願番号】特願2011-103604(P2011-103604)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/03 (2006.01)

H 0 4 R 1/02 (2006.01)

H 0 4 R 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/02 C

H 0 4 M 1/00 M

H 0 4 M 1/03 C

H 0 4 R 1/02 1 0 2 Z

H 0 4 R 1/00 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主振動方向を有し耳軟骨に音声信号を導く軟骨伝導振動源と、外壁と、前記外壁に設けられた開口部と、前記軟骨伝導振動源の前記主振動方向の面に接続され前記開口部から露出する振動伝導部とを有することを特徴とする携帯電話。

【請求項 2】

前記振動伝導部と前記開口部との間に振動隔離材が設けられることを特徴とする請求項 1 記載の携帯電話。

【請求項 3】

前記開口部は携帯電話の上角部に設けられることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の携帯電話。

【請求項 4】

前記開口部は携帯電話の側面部に設けられることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の携帯電話。

【請求項 5】

前記軟骨伝導振動源は圧電バイモルフ素子であることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の携帯電話。

【請求項 6】

前記軟骨伝導振動源に音声信号を入力する音声信号入力部を有することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載の携帯電話。

【請求項 7】

耳軟骨に音声信号を導く軟骨伝導振動源と、外壁と、前記外壁に設けられた開口部と、

前記軟骨伝導振動源に接続され前記開口部から露出する振動伝導部と、前記振動伝導部と前記開口部との間に設けられた振動隔離材とを有することを特徴とする携帯電話。